



釧路市長  
えびな ひろや  
蝦名大也

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会・経済活動含めさまざまな分野に多岐にわたる影響を及ぼしております。

併せて、行動制限等による活動の停滞により、高齢者から若年者まで世代に関わらず健康被害が拡大するなど深刻な実態も課題となっております。

市としても、国から示された各種交付金などを市民の皆様へ速やかに届け、感染対策や地域社会・経済活動の継続や復活のための取り組みを進めてまいります。そのためにも、円滑な3回目のワクチン接種をはじめ、お一人おひとりが新型コロナウイルスを正しく恐れるための正確な情報、必要な対策を講じるための正しい情報を可能な限り発信し、皆様の大切な時間を取り戻してまいりたいと思います。

また昨年は、日本製紙株式会社釧路工場の紙・パルプ事業撤退、赤潮の発生による甚大な被害と大変厳しい一年でありました。工場跡地については、地域経済を牽引いただいた100年の歴史の流れ、長い時間をかけて育まれた営みの姿を手本に、新たな活用策を模索中であり、赤潮被害対策でも将来展望を果たせる漁業支援に取り組んでまいります。

今年は、北海道で初めての市制が施行され、札幌・旭川・函館・小樽・室蘭・釧路市が誕生して100年を迎える記念の年です。

この間、釧路市においても都市基盤の整備、そして郷土愛を高める取り組みなど、市民の皆様とともに紡ぎあげ、着実に変化を続けてまいりました。

次の100年を見据え、かけがえのない北海道を代表する大自然を引き継ぎ、そして、人々が集う交流と賑わいのある空間への再生、防災を意識した都心部の形成や、近年激甚化している災害にも対応できる国土強靱化を意識した住み良いまちづくりを、歩みを止めることなく進めてまいり所存でございます。

新しい年が皆様にとりまして、実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

2022年  
令和4年

年頭に  
あたり

寅



釧路市議会議長  
まつながまさあき  
松永征明

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より議会活動に対し、温かいご指導、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は緊急事態宣言下で東京オリンピック・パラリンピック競技大会が無事に開催されたところであり、スポーツを通じて世界が団結し、一体感を共有するとともに、世界中から集結したアスリートたちが、お互いを認め、尊重し合い、一つになった光景は多くの人々に勇気と感動を与えてくれました。

釧路市議会におきましても、一昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、議会報告会の開催を見合わせておりましたが、コロナ禍の厳しい状況だからこそ、議会は地域に寄り添い、市民の皆様へのニーズを市政運営に反映させなければならないという考えのもと、昨年11月、2年ぶりに開催させていただいたところです。この報告会では鉄道高架や公園づくりへの提案など、市民生活に直結する行政課題に対する質問や意見の他、20年、30年後の釧路のまちづくりを見据え、市議会が市民の声を聞く場をたくさんつくってほしいという期待の声も寄せられました。

釧路市では少子高齢化や働く世代の流出増などに伴う人口減少問題、さらにはコロナ禍からの地域経済や市民生活の立て直しなど、解決しなければならない課題が山積しております。これらの課題に立ち向かうためには、地域や企業、関係団体の皆様方と連携・協力のもと、今ある資源を最大限に活用し、地域経済の回復に向けた取り組みを着実に進めていかなければならないものと認識しており、市民の皆様を代表する市議会といたしましても、あらゆる機会を通じ、市民の皆様の声をしっかり受け止め、公平・公正、そして活力あふれる議会運営に最善を尽くしてまいります。

本年は、私たち議員にとって任期4年の最終年であります。二元代表制の一翼を担う議会の責務として、今後も議会改革の歩みを止めることなく、活力に満ちた地域社会の実現のため、全議員の英知を集結し取り組みを進めてまいりますので、引き続き、市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。